



**アザマラ・クルーズ名称変更
「アザマラ・クラブ・クルーズ」誕生と新しいコンセプト導入について
AZAMARA CRUISES BECOMES “AZAMARA CLUB CRUISES”
*Newly refined brand unveils multiple new attributes for upmarket travelers***

マイアミ 2009年12月8日 - 米国ロイヤル・カリビアン・クルーズ社傘下のクルーズ運航会社3ブランドの一角を担う「アザマラ・クルーズ」がこのたび、名称を「アザマラ・クラブ・クルーズ」へと変更し新しいコンセプトで運営を行うことを発表いたしました。

アザマラ・クルーズは2007年より乗客定員694名の3万トン客船「アザマラ・ジャーニー」と「アザマラ・クエスト」の2隻を“デラックス”クルーズ客船と銘打って運航してきましたが、本日より「アザマラ・クラブ・クルーズ」として、旅行経験豊富な富裕層向けに、より洗練されたブランドコンセプトを打ち出しています。

アザマラ・クラブ・クルーズの社長兼CEO、ラリー・ピメンタルは「グッドからグレートへ」という方針を明らかにし、「すでに“グレートな”クルーズを目指してきましたが、さらに“ひととき優れた”クルーズにしていくということです。」と意図を述べました。

新しいコンセプトを導入するにあたり、ピメンタルは7月から継続的に、旅行会社や乗船いただいたお客様、メディア関係者など対話を重ねてまいりました。また社内には100%アザマラに専念する少数精鋭チームを立ち上げ、セールス&マーケティング統括部長エディ・ボーンSTEIN、ホテルオペレーション統括副部長のペール・ヴァン・ミドンドープ等が任命されています。

ピメンタルと選任チームが策定した新しいアザマラ・クラブ・クルーズのコンセプトは2010年4月から適用となります。

アザマラ・クラブ・クルーズのコンセプトのひとつは「You'll love where we take you(きっと忘れられない場所になる)」です。

ピメンタルによると、「最近のクルーズは信じがたい発展を遂げています。セレブリティのすばらしいソルステイス・クラスやロイヤル・カリビアンのおアシス・オブ・ザ・シーズなど、船そのものが目的地といって間違いのないでしょう。その中にあってアザマラ・クラブ・クルーズは、“他のクルーズ会社とはひとあじ違った寄港地”にこだわりたいと思います。」

アザマラ・クラブ・クルーズは2010年1年間で50カ国、140の港町を訪れます。日程も、ゲストがその国や文化により深く触れることができるよう、オーバーナイトステイ(1泊以上停泊する寄港地)を増やします。例えばイスタンブール、風光明媚なアマルフィ海岸やカプリ島で知られるソレント、北欧クルーズではサンクトペテルブルクでさらにゆっくり2泊3日、アジアクルーズではホーチミン、バンコク、シンガポール、香港などで停泊します。

「ゲストにはただその土地を“見るだけ”ではなく、体験していただけるよう、スローな旅を提案していきたいのです。サントロペやサンクトペテルブルグなどを考えてみてください。1日で足りるでしょうか。アザマラでなら、オーバーナイトステイや夜遅くまでの寄港を通して、もっと深い経験を得ることができます。」

「You'll love where we take you(きっと忘れられない場所になる)」のコンセプトは、その土地の人々や文化を体験していただく大切な要素である寄港地観光にも及びます。アザマラでは、アクティブなゲストのためサイクリング、ハイキング、カヤック、カヌーなど美しい自然を堪能するコース、その土地ならではの見所、音楽、地元の人と触れ合う機会、芸術、ダンスなどを楽しむ文化体験コース、ミシュランの星つきレストランや地元のワイナリーを訪れるなど食文化を堪能するコース、その土地でしか入手できない工芸品や美術品などを見学したり購入したりできるショッピングコースなどを用意いたします。

また、1泊停泊する寄港地では、2日間とも異なったツアーを楽しめる2デイパッケージや、オーバーランドツアー（次の寄港地まで陸上を小旅行するツアー）をご用意いたします。オーバーランドツアーではバンコクからラオス、広島から大阪に新幹線で行くツアー、ムンバイからタージマハルを見学するツアー、アシュドッドからカイロまでイスラエルを旅するツアー、ルクソールとカイロ両方をじっくり見学するグランドエジプトなどを予定しています。

その他にもチビタベッキア（ローマ）でフェラーリドライブ、リバプールでビートルズの足跡を辿るツアー、ロンドンで観劇のタベ、サンクトペテルブルグ（ツァールスコエーセロー）での王宮のタベ、ベニスでの夕暮れのゴンドラセレナーデ、ドバイのブルジュアルアラブでのハイティアーなどユニークなツアーがたくさんあります。

ふたつめのコンセプトは食事です。設立当初から力をいれてきた食事の質をさらに高めてまいります。すばらしい食事だけでなくワインもビンテージや小さなブティックワイナリーの品など、世界中からこだわりの逸品を求めてまいります。クオリティが高いながらも少量しか生産しないため地元で消費されてしまい、市場に出回ることがないワインは個人で手に入れることが難しいものです。そのようなすばらしいワインを、昼食と夕食時に追加料金なしでお召し上がりいただくことにいたしました。

健康で元気に過ごすことはアザマラ・クラブ・クルーズのもうひとつのコンセプトです。船上、そして寄港地でもゲストが常にはつらつと若々しく過ごせるようなプログラムを考えております。アザマラが目指すのはゲストひとりひとりが、身体、感情面、社会面、精神面でバランスのとれた状態で過ごせることです。マッサージやフェイシャルなどのスパトリートメントでリラックスするのはもちろん、鍼、ヨガ、ピラティスなど豊富なプログラムをご用意いたします。

新しいコンセプトでは、また富裕層に欠かすことのできない“ひととき優れたサービス”に真剣に取り組んでまいります。「アザマラの“優れたサービス”をマーケットで認識していただくことが目下の最重要課題です。ホスピタリティ分野にあるどんな組織も自分たちのすばらしいサービスを謳っています。ではアザマラが他と違うのは何でしょうか？まずひとつめは、パトラー制度です。パトラーたちは皆、本物の英国流のトレーニングを受けています。彼らはスイートに宿泊するゲストの行動を予測して準備し、のぞみをかなえ、かつおしつけがましくないという絶妙なサービスを提供するよう訓練されているのです。」

スイート以外の客室に宿泊するゲストには訓練と経験を積んだ客室係りがお世話いたします。

アザマラ・クラブ・クルーズは、さらにクルーズ料金を改定し、下記のような船内でのサービスを最初からクルーズ料金に含めてまいります。

2010年4月最初のクルーズから、アザマラ・ジャーニー、アザマラ・クエストともにクルーズ料金には下記の項目が含まれます。

2010年4月最初のクルーズ以降、クルーズ料金に含まれる項目

- ① アザマラが定めたブランドのミネラルウォーターは、レストラン・バーなどパブリックエリア及び客室に、クルーズ中無料でお配りいたします。
- ② スペシャルティコーヒー・紅茶
- ③ お部屋係とダイニングウェイターへのチップ
- ④ 寄港地でのシャトルバスサービス（必ずしも用意するものではありません。必要な場所でのみ運行）
- ⑤ 寄港地ならではのエンターテイメント/体験プログラム
- ⑥ 基本のお食事とルームサービス
- ⑦ 昼食と夕食時のハウスワイン
- ⑧ セルフサービスランドリー
- ⑨ スイートに宿泊のお客様はスペシャルティレストラン「プライムC（ステーキ・シーフード）」「アクアリーナ（地中海料理）」が、クルーズ中追加料金なしでお召し上がりいただけます。（予約制）

また、1回では物足りないお客様には、アザマラ・クラブ・クルーズのリピーター会員制度“Le Club Voyage”も新設され、特典を受けていただくことができます。（詳細は後日発表されます）